

TOPIX（東証株価指数）等の見直しの概要

能 木 絵 美

目 次

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. はじめに | 4. TOPIX等の見直しの概要 |
| 2. TOPIXの役割 | 5. 今後について |
| 3. 報告書におけるTOPIXに係る指摘 | 6. 終わりに |

本稿では、2022年4月4日の新市場区分への移行に伴う、TOPIXをはじめとする東証指数関連の見直し方針について解説する。当方針は、指数コンサルテーションを通じて、指数利用者、上場会社および投資家からの幅広い意見を踏まえ決定している。TOPIXについては、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークとして、引き続き幅広く利用されるよう今般決定した方針に沿って見直しを進めていく。

1. はじめに

東京証券取引所（以下、東証）は、2021年4月30日、TOPIX（東証株価指数）等の見直しに係る指数コンサルテーションの結果を公表した。今般公表した内容は、2019年12月に公表された、金融審議会市場ワーキング・グループ「市場構造専門グループ」報告書（以下、報告書）を踏まえ、2020年12月25日から2021年2月26日までの間、実施した指数コンサルテーションの結果を公表したものであり、市場構造等の見直しを契機とする

TOPIX等の見直しを含む東証算出指数に関する一連の見直し方針を決定したものである。このうち、「東証マザーズ指数」については、2021年2月26日までに提出された意見を踏まえ、原案を修正する形で、2021年3月26日から4月9日の間に追加の指数コンサルテーションを実施し方針を決定した。

本稿では、TOPIX等の見直しの背景と今回決定した見直しの概要、および見直し後のTOPIXの方向性について示す。



能木 絵美（のうぎ えみ）

東京証券取引所 情報サービス部インデックス・グループ 運用企画課長。筑波大学国際総合学類卒業後、東京証券取引所入社。派生商品部を経て、2008年より現職。一橋大学大学院国際企業戦略研究科修士課程修了。